

ポートフォリオ・レンズ：地政学

投資家の懸念

これまで私のポートフォリオは比較的堅調に推移していますが、足元の地政学的な不安定性を踏まえると、オルタナティブ（オルタナ）投資の一部を縮小すべきタイミングなのでしょうか。

世界情勢が変化する中で、投資家は、自身のポートフォリオが継続する不確実性に耐えられるかどうかについて疑問を抱くことがあります。その多くは、地政学的イベントによって大きな変更を行う事に慎重になる一方で、現在の環境下では、何もしないこと自体にもリスクを感じる局面となっています。アドバイザーは、短期的なボラティリティを引き起こしがちなニュースに左右されることなく、より適切かつ先を見据えたポートフォリオ判断を行えるよう顧客を導くという重要な役割を担います。

会話のポイント

- **ポートフォリオの耐性に着目：**投資家の大多数（79%）は、下落局面でどのようなパフォーマンスを示すのかを確認できれば、オルタナ配分をさらに増やしたいと考えています¹。

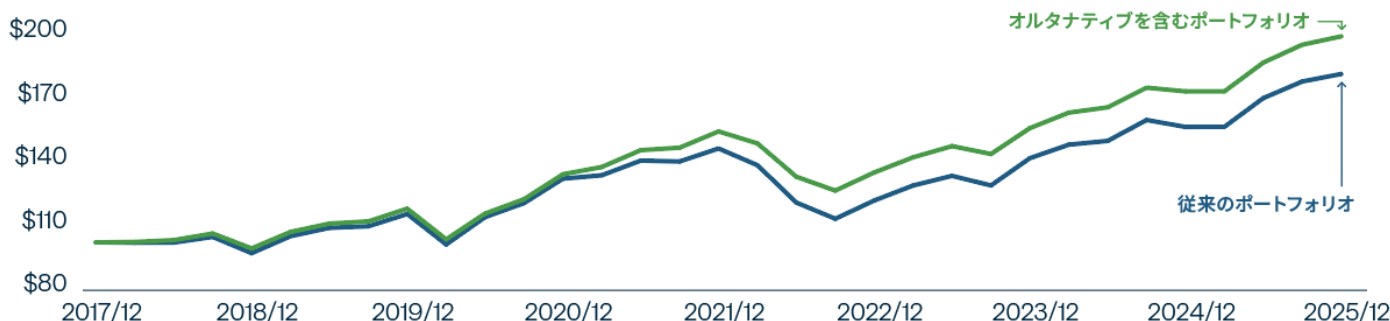
オルタナ・アロケータ²を活用し、様々な市場環境下における顧客ポートフォリオの推移について、シナリオ分析を実施します。従来（株式 60% 債券 40%）のポートフォリオや、オルタナへの配分が限定的なポートフォリオと、より分散が効いたオルタナ戦略を組み入れたポートフォリオを比較することで、オルタナ配分の追加が下方リスク抑制にどのように寄与し得るかを示します。

- **プライベート市場がボラティリティ抑制に寄与する可能性を説明：**オルタナティブ資産は、パブリック市場との相関が比較的低く、日々の価格変動の影響を直接受けないため、短期的な市場ショックによる影響を和らげる効果が期待されます。

56%

公開市場のボラティリティが高まる局面では、オルタナ投資の魅力が一段と高まると考える投資家の割合¹。

100ドルを投資した場合の運用成果：従来型ポートフォリオとオルタナ資産を組み入れたポートフォリオの比較



	グローバル株式	グローバル債券	プライベートクレジット	プライベートインフラストラクチャー	プライベート不動産	プライベートエクイティ
従来型ポートフォリオ	60%	40%	-	-	-	-
オルタナティブを含むポートフォリオ	55%	25%	5%	5%	5%	5%

過去の実績は将来の成果を示唆または保証するものではありません。分散投資は、利益を保証するものではなく、損失を回避するものでもありません。本資料は例示目的のみに作成されたものであり、ファンドの実際のリターンを示すものではありません。投資家がインデックスに直接投資することはできません。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス、グローバル債券はブルームバーグ総合債券インデックス、プライベート・クレジットはクリフウォーター・ダイレクト・レンディング・インデックス、プライベート・インフラストラクチャーはプレキン・インフラストラクチャー・インデックス、プライベート不動産はプレキン・プライベート不動産インデックス、プライベート・エクイティはプレキン・プライベート・エクイティ・インデックスでそれぞれ示しています。詳細については開示事項をご参照ください。

出所：ブルームバーグ、クリフウォーター、MSCI、プレキン。2018年1月1日～2025年12月31日。

- **現在の地政学・マクロ経済環境においてオルタナティブ投資が果たし得る役割を説明**：世界情勢が変化する中で、それぞれの戦略が提供するメリットとリスクを示しながら、オルタナ資産がどのようにポートフォリオ強化に寄与し得るかについて、顧客の理解を深めることが重要です。市場サイクルを通じた豊富な運用経験を有するマネージャーは、市場ストレス局面での対応や市場混乱時における投資機会の発掘に際して優れたポジションにあると言えるでしょう。

経済トレンド	投資家の懸念	オルタナティブのソリューション	その理由
インフレ	購買力の低下	実物資産（インフラ、不動産）	実物資産は、一般的に物価上昇に連動して資産価値が上昇または収入が調整される傾向がある。
金利上昇	パブリック債券のボラティリティ	プライベート・クレジット	変動金利の構造により、より高い利回りにより低い金利上昇への感応度が期待できる。
市場ボラティリティ	株式市場全体の下落	ヘッジファンド	これらの特化した戦略は、下方リスクの抑制と、パブリック市場との相関が低いリターン獲得を目指して設計されている。
景気減速	広範な市場の停滞	プライベート・エクイティ	GDP 感応度の低いニッチな投資機会や運営改善による価値創出に着目する。
グローバルな混乱	サプライチェーン／物流の混乱	インフラ	データやエネルギーなどの必要不可欠なサービスは、地政学・経済環境を問わず比較的高い耐性を有する。

投資機会

市場ボラティリティや地政学リスクが継続する中、多くの投資家がポートフォリオ運用に関する助言を求めています。オルタナティブ投資の役割について積極的に議論することで、顧客はこうした不確実性に対して、より高い確信と明確な視点を持って対応できるようになります。また、多くの場合、顧客のポートフォリオ全体について、より幅広い対話を行う契機にもなります。実際に、フィナンシャル・アドバイザーの 82% が、オルタナティブ投資によって顧客とのポートフォリオ構築に関する対話がより充実したと回答しています¹。

まとめ

今こそ、オルタナティブ投資に関する対話を深め、顧客との信頼関係を強化し、どのようなグローバル環境においても顧客の運用目標達成を支えられるポートフォリオ構築を進めるべきタイミングです。専門性の高い、信頼できるマネージャーは、地政学面での不確実性が高まる今日において、顧客のポートフォリオ戦略全体においてオルタナティブ投資がどのように適合し得るかに関して、投資家の理解を深めるサポートができます。

オルタナ研究所では、分かりやすい顧客向け各種資料、高度な資産配分戦略、ならびにベストプラクティスを包括的に提供しており、投資ニーズや優先事項が変化する中での顧客対応を支援しています。

脚注

1. ブロックフィールドは、コアデータ・リサーチ社への委託を通じて、2024年4月から6月の期間にわたり、米国およびカナダにおいて運用資産平均6億3,000万米ドルを有する金融プロフェッショナル300名と、米国、カナダ、香港、シンガポール、台湾において投資可能な家計資産250万米ドル超を有する富裕層投資家625名を対象に、オンライン個別調査を実施しました。
2. オルタナ・アロケーター・ツールにより提供される情報は、例示目的のみとして作成されたものであり、将来予測、見通し、投影、保証、調査、推奨または助言（投資、税務、会計または法務に関する助言を含みますが、これらに限られません）として依拠されるべきものではありません。本資料のいかなる内容も、特定の証券または投資戦略を推奨すること、あるいは特定の投資家の投資目的やニーズを満たすことを意図したものではありません。オルタナ・アロケーターに含まれる出力結果および情報に基づく判断は、すべて利用者自身の責任において行われるものとします。

留意すべきリスク

オルタナティブ投資は複雑かつ投機的な投資手法であり、すべての投資家に適しているわけではありません。オルタナティブ投資への投資には、元本損失を含む高いリスクが伴い、いかなるオルタナティブ投資ファンドにおいても、その投資目的が達成される保証はありません。オルタナティブ投資は一般的に流動性が低く、ロックアップ、ゲート条項、キャピタルコール、評価時点の遅れなどの制約を伴う場合があります。

重要な開示事項

ブロックフィールド・プライベート・ウェルス・エルエルシーは、米国証券取引委員会（SEC）にブローカー・ディーラーとして登録されており、FINRA および証券投資者保護公社（SIPC）の会員です。ブロックフィールド・プライベート・ウェルス・エルエルシーは、ブロックフィールドの完全子会社です。本資料に含まれる情報は、教育および情報提供のみを目的として作成されたものであり、法務、税務または投資助言、推奨、あるいはブロックフィールド・コーポレーションおよびその関連会社（総称して「ブロックフィールド」）が提供する証券の売却提案または購入勧誘を意図したのではなく、そのように依拠されるべきものでもありません。ブロックフィールドは、本資料に含まれる情報（第三者から提供された情報を含みます）の正確性または完全性について検証していない場合があります。また検証義務を負うものではありません。したがって、ブロックフィールドが当該情報を検証済みであることを前提として依拠することはできません。本資料に記載された見通しまたは予測は、資料作成日時時点のものであり、予告なく変更される場合があります。過去の実績は将来の成果を示唆または保証するものではなく、投資価値および当該投資から得られる収益は変動する可能性があります。

インデックス提供者に関する免責事項

本資料に記載された各種インデックスは非運用型であり、投資家が直接投資することはできません。インデックス・パフォーマンスは例示目的のみに掲載されており、いかなる投資成果も予測または示唆するものではありません。また、表示されたインデックスとブロックフィールドの戦略、コンポジットまたはファンドへの投資との間には、ポラリティの差異や規制・法的制約など、比較に際して重要となる要因が存在する場合があります。ブロックフィールドは、すべてのインデックス・データを第三者のインデックス提供者から取得しており、当該データは正確であると考えていますが、その正確性について表明または保証を行うものではありません。インデックスは非運用型であり、投資家が直接投資することはできません。

ブロックフィールドは、本資料で参照されるインデックスの保有、構築または日常的な管理に関与していません。本資料に記載されたインデックス情報は情報提供のみを目的としており、ブロックフィールドの商品が同様の成果を達成することを示唆または予測するものではありません。当該情報は予告なく変更される場合があります。本資料に記載されたインデックスには、手数料、費用、販売手数料または税金等は反映されていません。また、投資家がインデックスに直接投資することはできません。インデックス提供者は、各種インデックスおよび関連データを「現状有姿（as is）」で提供しており、これらに関するいかなる保証も行いません。また、インデックスまたは関連・派生データについて、その適合性、品質、正確性、適時性または完全性を保証するものではなく、これらの利用に関して一切の責任を負いません。さらに、インデックス提供者は、直接的損害、間接的損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害その他一切の損害（逸失利益を含みます）について責任を負いません。インデックス提供者は、ブロックフィールドまたはブロックフィールドの商品・サービスをスポンサー、推奨または推奨するものではありません。別段の記載がない限り、すべてのインデックスはトータルリターン・インデックスです。

MSCI は、本資料に含まれる MSCI データについて、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行わず、一切の責任を負いません。MSCI データは、再配布や、他のインデックス、証券または金融商品の基礎データとして利用することはできません。本レポートは MSCI によって承認、審査または作成されたものではありません。

インデックスの定義

ブルームバーグ・グローバル総合インデックスは、世界中で取引されている投資適格債券で構成される時価総額加重インデックスです。同インデックスには、市場の債券ユニバースを疑似する政府証券、モーゲージ担保証券、資産担保証券、社債が含まれます。同インデックスを構成する債券の満期は1年以上です。

クリフウォーター・ダイレクト・レンディング指数は、米国ミドルマーケット向けコーポレートローンの、レバレッジを除いた手数料控除前パフォーマンスを測定する指数です。この指数は、上場・非上場を含むビジネス・デベロップメント・カンパニー（BDC）の保有資産のうち、一定の適格基準を満たす資産の時価加重パフォーマンスに基づいて構成されています。

MSCI ワールド・インデックスは、先進国の株式市場のパフォーマンスを測定するように設計された、浮動株調整後時価総額加重インデックスです。

ポートフォリオ・レンズ：地政学

ブレキン・プライベート・エクイティ・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、投資家がプライベート・エクイティ・ポートフォリオで平均的に得たリターンを指数化したものです。過去のデータポイントは、最新 2 四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3 四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

ブレキン・インフラストラクチャー・インデックスは、実際の投資額に基づいて、投資家がインフラ・ポートフォリオで獲得した平均リターンを指数化したものです。過去のデータポイントは、最新 2 四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3 四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

ブレキン・プライベート不動産・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート不動産ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指数で表したものです。過去のデータポイントは、最新 2 四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3 四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

将来予想に関する記述

本資料は、米国連邦証券法令、具体的に米国 1934 年証券取引所法（その後の改正を含む）第 21E 条、そしてカナダ証券法令における意義の範囲内における将来の見通しに関する記述を含む情報やそれらに基づく情報が含まれています。将来の見通しに関する記述は、事業戦略や投資戦略もしくは戦略遂行のための措置、競争力、目標、事業の拡大および成長、計画、見込み、将来の成功への言及など、将来の行動、事象または動向に関して、過去の事実の記述以外のすべての記述を含みます。これらの記述は、過去または現在の事実と厳格に関連しないという事実によって特定することができます。「予測」、「推定」、「期待」、「予想」、「想定」、「計画」、「考え」やその他の類似する用語は、これらの将来の見通しに関する記述を特定するために用いられます。将来の見通しに関する記述は、不正確な仮定や既知もしくは未知のリスクおよび不確実性によって影響を受ける可能性があります。そうした要素の多くは、将来の実際の結果や成果を決定する上で重要となります。そのため、いかなる将来の見通しに関する記述についても保証はありません。実際の結果や成果は大きく異なることがあります。これらの不確実性を踏まえ、これらの将来の見通しに関する記述に不当に依拠するべきではありません。

© 2026 Brookfield

BPW-933936

Contact Us



privatewealth.brookfield.com



LinkedIn でフォロー